

5月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆5月13日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆5月15日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆5月30日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



知ってる?

男女共同参画のキーワード

ワーク・ライフ・バランス

令和2年度男女共同参画白書より
「家事・育児・介護」と「仕事」のバランス~個人は、家庭は、社会はどう向き合っていくか
 これまで、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)における取組では、個々人の、働き過ぎ防止による健康の確保や仕事と家庭の両立などに着目した取組がなされてきた。
 一方、我が国では、女性が「家事・育児・介護」の多くを担っている現状の中で、「仕事」での働き過ぎだけでなく、家庭における「家事・育児・介護」での働き過ぎの影響も考える必要がある。また、共働き世帯の増加など家族の在り方が変化する中で、「家事・育児・介護」において男性が主体的な役割を果たしていくことがますます重要になっている。
 共働き世帯は年々増加し、平成9(1997)年以降は専業主婦世帯数を上回っており、特に平成24(2012)年頃からその差は急速に拡大。女性における「家事・育児・介護時間」の減少は、晩婚化や未婚化等によるもので、結婚し子供を持つことで、共働きであろうが専業主婦であろうが「家事・育児・介護時間」は大きくは変わっていないかむしろかつてより増加。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(性別役割分担意識)に反対する者は6割程度になっているが、実際は妻が「家庭

さんかく交流サロン

◆5月13日(木) 13:30~15:00
「オリジナルのマスクをつくろう！」
 自分の気に入った布でマスクを作りませんか。
 講師: センター職員
 場所: 参画センター学習研修室1・2
 参加費: 200円
 申込み: 男女共同参画センターまで



予告

第3回 転勤者とさぬき人のはじめまして講座

「高松市議会を傍聴しよう！」
 * 予定が変わる場合があります
 ◆6月24日(木) 10:00~14:30
 場所: 高松市役所前集合
 参加費: 昼食代は実費
 定員: 15人程
 申込み: 男女共同参画センターまで ☎ 087-833-2282



を守る」役割を果たしている夫婦がほとんど。
「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をめぐる状況(労働時間及び休暇取得の状況)
 週間就業時間 60 時間以上の雇用者の割合を男女別に見ると、特に、子育て期にある 30 代及び 40 代の男性において、女性や男性の全年齢平均と比べて高い水準となっている。年間就業日数が 200 日以上の上の就業者について、週間就業時間 60 時間以上の就業者の割合を正規の職員・非正規の職員・自営業主別に見ると、平成 19(2007)年以降、男女ともにいずれの就業形態においても減少傾向である。長時間労働の是正は、個人のワーク・ライフ・バランスを改善することに結び付く。そして、女性の「家事・育児・介護」における「働き過ぎ」を防ぐという視点からも、男性の家事や育児等への参画が必要である。



(資料: 令和2年度男女共同参画白書)

4月の行事から

4/22

転勤者とさぬき人のはじめまして講座 — 新しくなったうどんといちごの郷 道の駅滝宮へ行こう!

参加者: 16人
 場所: コデン瓦町駅~滝宮駅(往復)
 当日はお天気に恵まれて、とても気持ちの良い日だった。コデン瓦町駅に集合し滝宮駅まで行き、滝宮天満宮を参拝後、歩いて道の駅滝宮に行った。
 道の駅滝宮は、3月28日にリニューアルオープンしたばかりで、5つある店舗名がそれぞれユニークな名前だった。滝宮はうどんの発祥地で、いちごの生産にも力を入れている。すぐそばにいちご農園もあり、いちご狩りもできるので、ファミリー層に人気があるようだ。ファーマーズマーケットには、新鮮な産直の花や野菜、加工品などがたくさん並んでいて、とても買いやすかった。

(参加者の感想)
 「新しい道の駅を見学できて良かったです。滝宮公園でリフレッシュできました」
 「快晴に恵まれた日、新しくなった道の駅を体験し、とても満足。参加者との情報交換も楽しかったです」
 「久しぶりに楽しくて参加して良かった」



4/23

こころとからだの健康講座 — 古に学び、発酵・麹で免疫力アップ!!

参加者: 23人 場所: 学習研修室1・2・3
 講師: 鎌野雅子(上級麹士・管理栄養士)
 そもそも日本は、発酵大国であり、2006年には、麹菌が国菌に認定されたことでブームが起き、塩麹、甘酒、乳酸菌が脚光を浴び、「ぬか漬け男子」「発酵あんこ」などのネーミングも聞くようになった。発酵とは? 腐敗は人間に有害な物質を作るが、発酵は人間に有益な物質を作るものである。日本酒造りでは麹菌が米のデンプン質を糖化してブドウ糖ができるが、空気中に浮遊している酵母菌が落下してそのブドウ糖を餌にしてアルコール発酵をして日本酒ができる。つまり、コウジカビは安全なカビなのだ。

麹菌が体に良い理由は、①麹由来のオリゴ糖が腸内環境を整え、免疫力をアップする②麹に含まれる豊富なビタミン類やミネラルが日本人に不足する栄養素を補う③体内で合成できない必須アミノ酸、全9種類を含有することである。

(参加者の感想)
 「人間にとって良いものになるのが発酵という話が印象に残りました」
 「教えてもらったジッパー付き袋で甘酒を作りたいと思います」
 「内容がすばらしい」

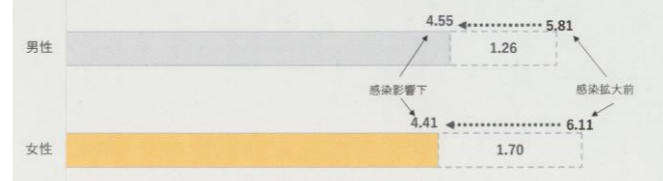


トピックス

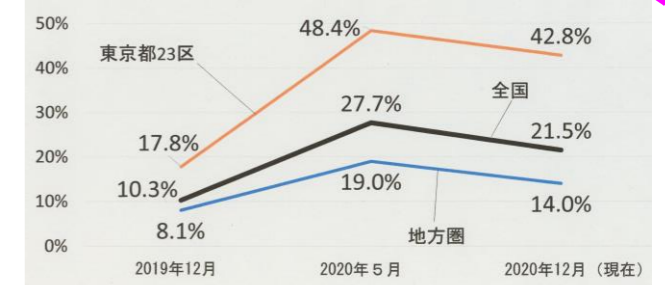
コロナ禍での生活意識・行動の変化に関する調査

「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年5月25日~6月5日)
 昨年、コロナが広がり生活に影響を与えた時期に、『「満足度・生活の質に関する調査」に関する第4次報告書』の中で、インターネットで調査し、内閣府が発表した。(回収件数 10,128件)

●感染症拡大前後の「総合主観満足度」の変化(男女別)では、生活全体の満足度の平均の変化を男女別に比較すると、女性は平均満足度が1.70低下しており、男性の1.26よりも低下幅が0.44大きくなっている



第2回生活意識・行動の変化に関する調査の「働き方」のテレワーク実施状況によると、2020年5月時点と比べると、テレワーク実施割合はやや低下している。



子育て世帯への質問で、男性の家事・育児時間の変化の推移(平均値)が、テレワークを継続している男性は家事・育児時間が増加している。

